



# まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校

学校だより

1月号



## 【3学期スタート！！】

令和5年は卯年です。うさぎは跳びはねる姿から、「飛躍」や「向上」を象徴するものだと思います。また卯年は、芽を出した植物が目に見えて大きく成長する年とのことで、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。始業式では、そうした卯年のいわれを紹介し、「新しいことに挑戦し、ますます成長してほしい」と児童生徒に話をしました。学校としても、創立10年目を迎える年でもあり、さらに充実した教育活動を行っていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



年末に「おもちゃの寄贈」をお願いしたところ、予想を上回るたくさんのご寄付をいただきました。中にはいただいてもよいのかと思うような立派な品物もあり、職員室にうれしい悲鳴があがりました。担任の先生達が、子どもたちの顔を思い浮かべながら一つ一つ手にとって選んだり分けたりした物を、新学期早々に各クラスに配付しました。これから学習や余暇活動でしっかり活用させていただきます。本当にありがとうございました。(校長 梶谷淳子)

## 【地域型実習】

知的障害部門高等部では地域型実習と呼んでいる学習があります。職業コースの生徒たちは校外の商店や老人福祉施設、真備支所などの場所をお借りして実践的に働く経験を積んでいます。社会人の先輩の仕事ぶりを間近で見たり、実際に教えてもらったりする中で、企業で働くことへのイメージをもったり、教えてもらった技能を習得したりすることができています。

また、今年度2学期からは、生活コースの生徒たちも地域の事業所の協力を得て、地域型実習への取組が始まりました。学校での学びを生かし、役割を果たすことで、生徒が外部の方に認められ、自己有用感を高めることができるように、今後も取組の充実を図っていきたいと思います。



(職業コース:福祉施設での清掃)



(生活コース:タクシー会社での洗車)